

企 画 書

宮城県鹿島台商業高等学校

平成18年度 実施計画

平成15年度から平成17年度までのまとめ

平成15年度

テーマ 商業事始め ～身近にあった商業の原点～ **宮城県高等学校生徒商業研究発表大会3位**

- ・商店街の活性化を目指して 販売実習への挑戦（試み）
- ・空き店舗を利用し、商店街の活性化
- ・昔から続く「かしまだい互市」への参加
- ・鹿島台町商工会主催「生活互市」への参加（商業の原点を探る）

商業の原点に立ち返り、商業の始まり「市」を調べてみると、人と人とが行き交う場・物と物とが行き交う場・情報と情報とが行き交う場として「市」が大変重要な役割を果たし、町も人も活き活きとした本当の意味での活力ある町（社会）づくりができるのではないかと感じた。

平成16年度

テーマ 商業事始め ～商業の古きを学び、新しきを知る～ **宮城県同研究発表大会2位**

商業事始め ～商農連携から生まれた私たちのビジネス～ **東北六県同研究発表大会3位**

- ・農業高校との連携を深め、販売促進を考える
- ・仙台市内「食楽人工房 和媛」への販売
- ・テレビ会議システムを活用
- ・商業のスペシャリストを目指す

平成15年度の活動を踏まえ、「テレビ会議システム」（情報機器）の利用し、活かした活用の情報の活用を試み、活動を拡大させた。生産と販売、双方向の現場がアイデアを交換しあい、販売促進に繋げ、「商農連携」の大切さを感じた。また、消費者は、食の安全を考え、「生産者の顔を見える安心な食材」を求めていることを知り、「物の豊かさ」が最優先されていた社会（時代）から、「心の豊かさ」を求める社会（時代）への移行を感じた。

平成17年度

テーマ 起業家への挑戦 ～「商業事始め」から「ビジネス」を考える～ **宮城県同研究発表大会優勝**

起業家への挑戦 ～「商業事始め」から「ビジネスのスペシャリスト」を目指して～

東北六県同研究発表大会2位

経営者としての第一歩 ～「商業の古き」を温めて、「新しきビジネス」を知る～

全国商業高等学校同研究発表大会優良賞

- ・新たな活動の「場」を求め、参加する
- ・民間企業やNPO法人をいただき、「起業家」へ挑戦し、地元の商店街の活性化に向けた提言を行う
- ・三つの事業の立ち上げ
イベント型販売事業・コーディネート事業・継続型販売事業
- ・インターンシップ受け入れ
- ・共同出店

「Relief（レリーフ）」を立ち上げ、仙台市内での販売実習・南郷高校との共同出店、さらに、全国の高校生が作る加工品・農産物を取り扱い、古川市内の酒蔵をリフォームした「醸室（かむろ）」で販売活動を通して、「起業家への挑戦」から「経営者としての第一歩」への変化を感じた。

平成18年度

テーマ 新たな“故郷”と歩み出す ～商農連携から、グリーン・ツーリズムを学ぶ～

宮城県同研究発表大会優勝

新たな“故郷”の発展を目指して ～商農連携から産学官連携への拡大～

東北六県同研究発表大会優勝

魅力ある新たな“故郷” ～商農連携から産学官連携への拡大～ **全国高等学校同研究発表大会**

大崎市（平成18年3月31日古川市、遠田郡田尻町、志田郡三本木町・松山町・鹿島台町、玉造郡岩出山町・鳴子町の1市6町が新設合併）の特色は、各地には、独自の伝統・文化・地場産品があり、「鹿島台」では「互市」・「古川」では「米どころ」・「岩出山」では「有備館・凍り豆腐」などを始め、各地域には「核」となる様々な要素がいくつもあり、中でも、「鳴子」は、全国でも名高い温泉や観光名所が存在し、様々な恵みによって成り立っている。その恵みと平成15年度より活動を行ってきた、異校種の高校・地域社会との連携を活かし、新たな故郷と歩み出すことを目的としたシティーセールス（ツアーの企画）を実施する。

1. 旅行業者

平成15年度卒業 生徒商業研究発表大会参加者赤間加奈子さんに旅行企画依頼
現在近畿日本ツーリストサービス勤務

商品化可能な業者

(株)農協観光 東北営業本部 国内旅行事業部

対象：東京在住

交通機関：貸切バス

料金：30,000程度

補足：オンリーワンを素材としたツアー企画

仙台バスツアーズ株式会社

補足：地産地消に関するツアー企画の実施事例有

グリーン・ツーリズムツアー実施に伴う企画・集客・運営の協力

ききょう観光有限会社

補足：地元根ざした旅行企画の実施事例有

広告活動の協力

企画・集客・運営の協力

株式会社JTB東北 交流文化事業部

対象：東京方面から仙台市を中心とした宮城県内

経費：募集経費の支出(20万円程度)

旅行行程：仙台市を発着から伴う行程の変更

募集人数：30~40名 最小催行人数25名

実施日：10月1日(日)から2日(月)

募集方法：同企業のメディア課の新聞折込チラシへの掲載

メディアを利用したパブリシティ活用

PR活動：折込広告実施(8月21日・9月18日配布)

新聞広告実施(9月5日掲載)

2. 株式会社「デュナミス」・宮城県地域産業課への協力依頼(企画協力・指導助言及び資金協力等)

・宮城県産業経済部産業政策推進室企画第一班 山崎賢治氏

(1)活動における指導助言

(2)各機関の紹介

大崎地方振興事務所伊藤嘉彦氏紹介

宮城大学事業構想学部助教授 宮原育子氏紹介

宮城県産業経済部むらづくり推進課中山間振興班 後藤康弘氏紹介

・大崎地方振興事務所地方振興部商工振興第一班 伊藤嘉彦氏

(1)大崎市の各地における伝統・文化・地場製品の紹介

(2)シティセールスにおける企画・集客・運営の協力

(3)シティセールスにおける指導助言

(4)県広報課の協力

・宮城大学事業構想学部助教授 宮原育子氏

(1)活動における指導助言

(2)仙山地域文化交流事業協力

(3)各機関への広報及び紹介

・宮城県産業経済部むらづくり推進課中山間振興班 後藤康弘氏

(1)活動における指導助言

(2)みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会紹介

HP「みやぎまるごとグリーン・ツーリズム」登録

<http://www.gtmiyagi.com>

3. 宮城県南郷高等学校への連携依頼

(1) 共同販売事業

- ・宮城県南郷高等学校内での共同販売事業(5月20・21・27・28日,6月4日)
大崎タイムス取材・河北新報取材依頼
5月20日 NHK取材 同日放映
5月20日 大崎タイムス取材 5月27日掲載
5月20日 河北新報取材 5月22日掲載
- ・就業体験・商業研究における販売事業の商品仕入・共同出店
- ・朝市夕市ネットワーク主催合同市出店(7月20日・8月17日)
7月20日 河北新報取材 7月27日掲載
8月17日 河北新報取材 8月18日掲載
- ・農産物の生産作業

(2) グリーン・ツーリズム事業

- ・宮城県南郷高等学校共同企画グリーン・ツーリズム事業
大崎タイムス取材・河北新報依頼
7月4日 NHK出演(高校発ビデオリポート) 同日放映
6月20日 大崎タイムス取材 6月30日掲載
6月26日 河北新報取材 7月2日掲載
8月4日 河北新報取材 8月5日掲載
8月 大崎タイムス取材 8月22日掲載
8月 大崎タイムス取材 8月31日掲載
- ・シティセールスにおける企画協力(稲刈り)

4. 鳴子温泉観光協会への協力依頼

- ・シティセールスにおける企画・集客・運営の協力(宿泊先の手配)
- ・地場産品の実習・見学・体験協力
- ・湯巡り手形配布依頼
- ・シティセールス(ツアー企画)の後援

5. 大崎市役所への協力依頼

- 大崎市産業経済部 大崎市古川総合支所
 - ・シティセールスにおける企画・集客・運営の協力(訪問先の選定)
 - ・訪問先の価格交渉
 - ・地場産品の実習・見学・体験協力
- 大崎市役所
- ・大崎市長 伊藤康志氏表敬訪問
9月1日 河北新報取材 9月5日掲載
9月1日 大崎タイムス取材 9月5日掲載

6. 見て・来て・触れて・感じて,グリーン・ツーリズム ~まると大崎体験と名湯・鳴子温泉~の企画・商品化

活動内容

- 鳴子観光協会への訪問 シティセールスの協力依頼
- ・合併後の変化
- ・今現在への働きかけ
- 大崎市への訪問 シティセールスの協力依頼
- ・合併後の変化
- 株式会社「デュナミス」・宮城県地域産業課への訪問 シティセールスの協力依頼
- ・アンテナショップ(コ・コ・みやぎ)(東京・池袋)の利用
- ・大崎市限定商品(一般生産者 or 高校生)
- ・ツアーの商品化及び販売
- 朝市夕市ネットワークでの商品販売(南郷高校との連携)
- 宮城県南郷高校での稲刈り実習 シティセールスの協力依頼
- ツアーの企画・商品化

参考資料 事業計画書（グリーン・ツーリズム事業）

事業計画書

宮城県鹿島台商業高等学校：R e l i e f（レリーフ）

構成メンバー	丹野美香	沖田 遥	橋本 亜紀奈	藤本 奈美
事業内容	<p>商農連携から産学官連携への拡大を目指し“大崎市”の観光地・工芸品・特産物を取り入れながら 地域の人々と協力し、シティーセールスを行い、実際に見て・触れて・感じて、そして、本当の“大崎市”を知ってもらうための事業。</p>			
事業活動	<p>新たな“故郷”のシティーセールスを行う。 平成15年度から行っている商農連携から産学官連携への活動を目指し、グリーン・ツーリズムを取り入れたツアー企画を行う。 活動をとおして、地場産品・産業の発展を目指す。</p>			
この事業が必要とされる社会的背景	<p>平成18年3月31日合併より誕生した、大崎市のシティーセールス。 グリーン・ツーリズムをとおして、都市と農村との交流、地域活性化の展開。</p>			
類似製品・サービスとの違い（優位性）	<p>高校生の力で地産地消を目的とした活動を考え、実施する。 自ら足を運び、見て・触れて・感じた場所を行程に入れる。 「生産者の顔が見える」「安全」な商品を提供する。</p>			
類似製品・サービスとの違い（弱点）	<p>「生産者の顔が見える」「安全」な商品を提供するため、市場価格より高い。 （改善点） 市場価格を調べて価格設定をする。 自然が関係する商品設定のため、時期の選定が難しい。 （改善点） 代替案をいくつか考える。 商品の知識不足 （改善点） 自ら調べる。又、生産者に直接聞く。 連携先とのコミュニケーションがとれていない （改善点） 月に1回は連携先と打ち合わせをする。</p>			
販売・ターゲット	<p>都市部在住で、グリーン・ツーリズムに関心がある人。</p>			
市場規模	<p>（顧客数）30人（今回の事業に限る） （地域エリア）関東圏及び東北と都市部 （将来性）自分たちの“故郷”だけでなく、すべての人々の“故郷”とし、年間を通しての活動にする。</p>			
販売価格の設定方針	<p>市場価格を調べ、消費者に値ごろ感を与える価格設定。</p>			
PR方法	<p>行政の各機関の協力を得て、PRの場の提供を受ける。 消費者が見て、わかりやすいパンフレットの作成</p>			
事業実施上の問題点とリスク	<p>数ヶ月前より日時を設定するため、天候、作柄等の状況が把握できない。 参加者がどの程度になるかわからない。 事故等が起きた場合の対応と保証について、企業ではないため難しい点がある。</p>			
事業全体の優位性	<p>他の商品にはない手作り感がある。 「生産者の顔が見える」「安全」な商品。 地元の特徴を十分に取り入れたコース。</p>			
今後の事業展開	<p>季節ごとにツアーを企画し、実施する。 市場を東京圏に設定し、販売活動を行う。 ツアーに限らず、都市と農村の交流事業を発展させる。 行政・企業の橋渡しを行い、連携を拡大し、活動を継続させる。 大崎地区全体の活性化と町を“元気”にする活動を考え、実施する。</p>			
売上・利益計画	<p>年間売上50万円以上を目指す</p>			

旅行取引条件書（日程表）

予 定 表 見て・来て・触れて・感じて・グリーン・ツーリズム



まるごと大崎体験と名湯・鳴子温泉 2日間

コース番号	12A2090-5	BOX番号	
ご旅行期間		2006年10月1日(日)～10月2日(月) 1泊2日	
日次	旅の行程	は入場観光を表します。 は下車観光を表します。()内は観光予定時間ですが、変更の場合がございます。	食事
1	太白区役所 == 仙台駅西口 == 泉中央 == 泉パークタウン == 道の駅三本木(15分) == 凧菜・上の家(明治21年に建てられた茅葺屋根に土塀づくりの農家住宅で、地元採れたて旬の料理をご賞味下さい)(60分) == 鬼首かんけつ泉(国内最大級のスケールの湯柱)(30分) == 岩下こけし資料館(20分) == (早めの到着15時頃)鳴子温泉(泊) 情緒豊かな温泉街や、湯めぐり手形にて外湯めぐりをお楽しみ下さい。		/ 昼 夕
	宿泊場所	鳴子観光ホテル	鳴子温泉和室 風呂・トイレ付 定員2～6名様
2	お宿(ゆっくり出発9時30分頃) == 湯沼(日本一の酸性湖)(15分) == あ・ら・伊達な道の駅(採れたて新鮮な地元の野菜や、地場産品のお買物)(20分) == 旧有備館(日本最古の学問所)(40分) == 醸室(かむろ)(造り酒屋を改装して作られた食の蔵、そば・中華・イタリアンなど自由昼食)(80分) == アグリ・ハウス加護峰(ソーセージ手作り体験・ハムの試食)(30分) == 宮城県南郷高等学校での稲刈り体験(60分) == 泉パークタウン == 泉中央 == 仙台駅西口 == 太白区役所		朝 / /

募集人員/30名様限定 受付最少人員/大人2名様 最少催行人員/25名様
 添乗員/1日目仙台駅から2日目仙台駅まで同行致します。 バスガイドは付きません。
 食事/朝1回、昼1回、夕1回
 行程内容

催行期日は、2006年10月1日(日)から2日(月)。募集人員は、30名とし、最小遂行人員は25名。仙台市内の4箇所を出発点とし、同じ敷地内に「亜炭記念館」がある「道の駅三本木」に立ち寄り、「農家レストラン凧菜・上の家」で地元に残る釜神の説明を受けながら昼食をとります。その後、国内最大級のスケールの湯柱を吹き上げる「鬼首かんけつ泉」・鳴子の伝統工芸品の「岩下こけし資料館」を見学し、早めに鳴子温泉に到着し、情緒豊かな温泉街や湯めぐり手形にて外湯を楽しんでいただき、1日目を終えます。

2日目は、ゆっくりとした時間で宿を出発し、日本一の酸性湖、湯沼を見学し、採れたて新鮮な地元の野菜や地場産品のお買い物ができる「あ・ら・伊達な道の駅」に立ち寄り、伊達政宗公に縁ある日本最古の学問所である「旧有備館」を見学します。その後、造り酒屋を改装して作られた「食の蔵、醸室(かむろ)」で昼食をとり、手作りソーセージ体験をし、最後に商農連携先の南郷高校での稲刈り体験を実施していただき、仙台市内に戻るという行程です。

参考資料 ツアー終了後に実施したアンケート結果

1. 私たちの企画はどうでしたか？

良い	18人
普通	4人
悪い	0人

2. しおりの内容はいかがでしたか？

良い	21人
普通	1人
悪い	0人

3. しおりの中で良かった点はどこですか？

- ・内容が詳しく載っており見やすい。素晴らしい出来具合。
- ・写真付きで丁寧に作ってあり宿泊先の温泉，料理，見学先などが分かりやすくまとめてあった。
- ・情報が細かく，自分たちが取材し，撮った写真をふんだんに取り入れているところ。
- ・非常に細かい部分にまで気を配って作られていたので，素晴らしかった。

4. しおりの中で改善すべき点はどこですか？

- ・見学地のひとこと感想があっても良かったかも。
- ・もう少し分かりやすく簡潔に書いてほしかった。
- ・地図があって，見学ルートが分かれば良かった。
- ・このツアーに臨む意気込みを含めた自己紹介を今度は入れてみて下さい。

5. ツアーの行程についてお答え下さい。一番印象に残った場所はどこでしたか？

1 日目	道の駅三本木	2人	2 日目	潟沼	7人
	凧菜・上の家	17人		あ・ら・伊達な道の駅	1人
	鬼首かんけつ泉	3人		旧有備館	6人
	岩下こけし資料館	1人		醸室	4人
	その他	1人		アグリ・ハウス加護峰	10人
	鳴子温泉駅前の足湯			稲刈り	中止

6. その他，行程についてご意見があればご記入下さい。

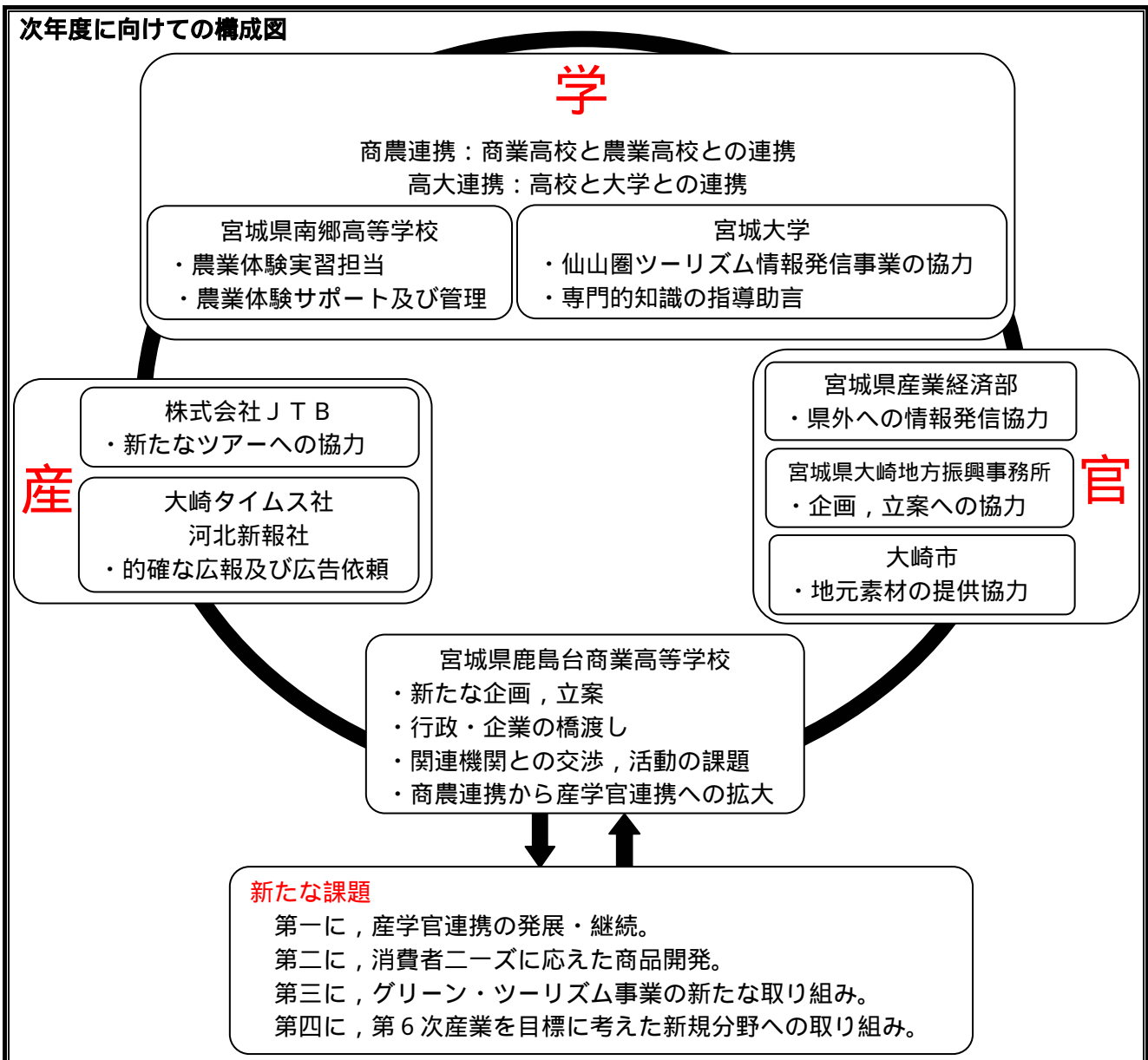
- ・凧菜・上の家は穴場の観光地で良かった。料理もおいしくいただきました。
- ・アグリ・ハウス加護峰でもう少し時間を取っても良かった。
- ・もう少し行程の数が少なくても良いと思います。
- ・仙台に居ながらこんなに見て，聞いて新たな発見でした。
- ・二日目が雨だったのが本当に残念でした。天気がいいときに潟沼に行って，水がピリッとするのか試しかめてみたいです。
- ・研究されて行程を組まれた様子が分かる。大変楽しい旅でした。
- ・道の駅2カ所を入れる必要があったのでしょうか？初日の目玉は何でしょうか？2日目は，稲刈りメインでしたが，それができない時に何を持って来れば良いのか，検討が必要。

7. 行ってみたいと思う企画や参加したい企画がありましたらお書きください。

- ・伊豆沼渡り鳥ツアー，気仙沼漁ツアー，そば打ち体験ツアーなどの企画。
- ・季節ごとにその時期に良いところを取り入れた企画があれば参加したい。
- ・普通のツアーにない，その土地の人たちだけが知っている良い場所に行きたい。
- ・高校生と一緒に体験する企画。例 ソーセージ作りを協力して体験
- ・稲刈り体験ができなくて残念だったので，今度こそ稲刈り体験をしたいです。
- ・春の季節。秋季の企画にも参加したい。
- ・各地（地元）の良い所を探求する楽しさを知りました。また，是非参加したいと思いました。
- ・田植えから稲刈りとか，次回に続く物語があれば，リピーターも増えるのでは・・・
- ・観光ルートとしてのツアーではなく，援農体験等大崎の地域の人と一緒に達成感の味わえる 企画が良いと思います。地域づくりの視点で地元のほこりと他地域の人のあこがれの環流を 目指した観光づくり。

4. ツアーを終えて（検証）

私たちの今年度の活動は、これまでの3年間の商業高校と農業高校との連携（商農連携）の拡大を目指し、南郷高校敷地内・仙台市内で行った共同販売から始まりました。そして、今、4年目を迎え、商業の原点である“市”から学んだ、人と人・物と物・情報と情報の交流、そして、新たに、“心の豊かさ”を考え、より良いサービス、「ソフト的なものづくり」に重点をおき、心と心の交流に目を向けることにより生まれたのが、新しき“故郷”の発展を目指したシティーセールスであり、ツアー企画・グリーン・ツーリズム事業でした。しかし、この企画「見て・来て・触れて・感じて、グリーン・ツーリズム～まると大崎体験と名湯・鳴子温泉～」は、私たちの力だけでは、実現することはできず、共に活動してきた南郷高校、また、指導・協力していただいたNPO法人、民間企業、大学、そして、行政という産学官連携への拡大がなければ、新しき“故郷”の発展を目指した企画の商品化、そして、実施することはできませんでした。また、ツアー実施後のアンケートからは、「良い」という評価を多数のお客様から得ることができましたが、「皆さんが作ったしおりは、もう少し分かりやすく簡潔に書いてほしかった」や「もう少し行程の数が少なくても良いと思います」というサービスの過剰さを指摘される回答もありました。しかし、そのお客様の声は、新たな活動を行う上での“きっかけ”となり、課題となりました。次年度は、以下の構成図をもとに、課題点の解決策を模索し、新たな“故郷”大崎市と共に歩み続けていきたいと思ひます。



産学官連携の発展・継続

- ・河北新報社等マスコミを活用したパブリシティ展開による広報活動。
- ・宮城県広報課への働きかけを行い、県外への情報発信。
- ・市場を関東圏の都心部に設定し、アンテナショップを利用した販売活動。
- ・行政・企業の橋渡しを行い、連携を拡大し、発展・継続させる。
- ・大崎地区全体の活性化と街を“元気”にする活動を考え、実行する。

消費者ニーズに応えた商品開発

- ・常に“安全”な商品の提供を心がけ、「生産者の顔が見える」商品を提供する。
- ・自ら足を運び、見て・触れて・感じた場所を行程に入れ、地元素材をアピールする。
- ・「ソフト的なものづくり」に加え「ハード的なものづくり」を考え、地元素材を活かした商品 開発を行う。

グリーン・ツーリズム事業の新たな取り組み

- ・緑豊かな農村地域の自然・文化を通して人々との交流を行い、滞在型の余暇活動を実施する。
- ・身近にある素材（観光地・特産物・工芸品等）を活かした活動を心がける。
- ・地域の方々と連携し、地元の人こそが知る“モノ”を取り入れる。
- ・商農連携をさらに発展させ、農業高校が持つたくさんの魅力を地域社会に広げる。

第6次産業を目標に考えた新規分野への取り組み

- ・旅行商品を市場に流通させることで大崎地区関係諸機関の地場産品・産業発展を図る。
- ・これまでにない新規分野へ挑戦し、商業で学んだ知識を活かした活動に取り組む。
- ・高校生の力で地産地消を目的とした活動を考え、実施する。

第6次産業：第1次・第2次・第3次産業のすべてを自ら企画し、実施する産業。

参考資料 活動実績

平成18年度の活動実績

活動日	活動時間	活動場所	研究活動内容
4 / 26 (水)	15:40 ~ 18:00	本校情報処理実習室	本校のこれまでの取り組みについて これからの活動についての確認
4 / 27 (木)	15:55 ~ 17:20	宮城県南郷高等学校	今年度の活動の打ち合わせ
4 / 28 (金)	15:45 ~ 18:00	本校情報処理実習室	今年度のテーマ決め
5 / 1 (月)	11:00 ~ 15:00	本校情報処理実習室	販売商品についての検討・検索 シティーセールス(ツアー)の企画
5 / 4 (木)	13:00 ~ 18:00	大崎市内	鳴子温泉観光協会との打ち合わせ 実地調査(鳴子・鬼首) ・鳴子ダム ・鬼首かんけつ泉 ・潟沼 ・鳴子温泉郷 鳴子温泉観光協会との打ち合わせ
5 / 6 (土)	10:00 ~ 16:00	本校情報処理実習室	販売商品についての検討・検索 (高校名・商品名)
5 / 8 (月)	16:00 ~ 18:40	本校情報処理実習室	販売商品についての検討・検索 (高校名・商品名) (仕入先:農業・商業・水産高校依頼)
5 / 9 (火)	12:00 ~ 18:00	大崎市内	鳴子温泉観光協会との打ち合わせ
5 / 10 (水)	15:50 ~ 17:00	本校情報処理実習室	ツアーの企画・商品化について
5 / 11 (木)	15:50 ~ 18:00	本校情報処理実習室	ツアーの企画・商品化について 卒業生(赤間加奈子)来校 現在近畿日本ツーリストサービス勤務
5 / 15 (月)	16:00 ~ 17:30	宮城県大崎地方 振興事務所	ツアーの企画・商品化について 大崎地方振興事務所 地方振興部商工・振興第一・二班
5 / 16 (火)	10:30 ~ 12:00	宮城県南郷高等学校	田植え見学 ツアーの企画・商品化について協力依頼
5 / 18 (木)	16:30 ~ 18:00	本校情報処理実習室 大崎市役所	コーディネート事業共同販売準備及び広告作成 ツアーの企画・商品化について協力依頼
5 / 19 (金)	15:50 ~ 18:00 18:30 ~ 20:00	本校情報処理実習室 近畿日本ツーリストサービス(登米市)	コーディネート事業共同販売準備及び広告作成 ツアーの企画・商品化について協力依頼
5 / 20 (土)	9:00 ~ 16:00	宮城県南郷高等学校	コーディネート事業共同販売
5 / 21 (日)	9:00 ~ 16:00	宮城県南郷高等学校	コーディネート事業共同販売
5 / 22 (月)	16:00 ~ 18:00	宮城県大崎地方 振興事務所	ツアーの企画・商品化について 大崎地方振興事務所 地方振興部商工・振興第一・二班
5 / 23 (火)	17:00 ~ 19:00	仙台市内	JTB東北:ツアーの企画・商品化について
5 / 24 (水)	15:50 ~ 19:00	本校情報処理実習室	コーディネート事業共同販売反省会
5 / 25 (木)	15:50 ~ 19:00	本校情報処理実習室	コーディネート事業共同販売反省会
5 / 27 (土)	9:00 ~ 14:00 14:30 ~ 18:00	宮城県南郷高等学校 大崎市内	コーディネート事業共同販売 鳴子温泉観光協会との打ち合わせ
5 / 28 (日)	9:00 ~ 15:00 15:30 ~ 18:00	宮城県南郷高等学校 本校情報処理実習室	コーディネート事業共同販売 (雨天のため) コーディネート事業共同販売反省会

平成18年度の活動実績

活動日	活動時間	活動場所	研究活動内容
6 / 3 (金)	9:00~12:00 12:30~17:30	第二情報処理実習室 大崎市内	ツアーの企画・商品化について 実地調査 ・松山町酒ミュージアム ・醸室(かむろ) ・大崎市民ギャラリー(文化伝承釜神展) ・化女沼(化女沼古代の里)・蕪栗沼 ・さくらの湯
6 / 4 (土)	10:00~17:00 10:00~13:00	宮城県南郷高等学校 醸室(かむろ) (大崎市)	共同販売事業 加美町文化協会「木彫りの会」主催 釜神彫り体験
6 / 5 (日)	13:00~18:00	大崎市内	実地調査 ・旧有備館(旧岩出山) ・瀉沼(旧鳴子町) ・滝の湯(旧鳴子町) ・鳴子温泉駅
6 / 19 (月)	16:00~18:00	本校応接室	ツアーの企画・商品化について 卒業生(赤間加奈子)来校
6 / 20 (火)	16:00~18:00	本校情報処理実習室	大崎タイム取材 ツアーの企画・商品化について
6 / 26 (月)	16:00~18:00	本校情報処理実習室	河北新報取材 ツアーの企画・商品化について
7 / 1 (土)		大崎市内	平成18年度第10回宮城県高等学校 生徒商業研究発表大会:大崎市松山青少年交流館
7 / 4 (火)	リハーサル 15:00~16:30 放送 17:30~19:00	醸室(かむろ) TERAKOYA ホール (大崎市)	NHK仙台放送局 ツアーの企画・商品化について
7 / 5 (水)	16:30~18:00	仙台市内	JTB東北:ツアーの企画・商品化について
7 / 15 (土)	9:30~11:30 13:00~15:00 15:30~16:30	大衡村内 大崎市内	ききょう観光:ツアーの企画・商品化について 凜菜上の家:試食 実地調査:感覚ミュージアム
7 / 16 (日)	13:00~14:00 14:30~15:00	アグリ・ハウス加護峰 天平ロマン館	ツアーの企画・商品化について 実地調査
7 / 19 (水)	16:00~18:00	宮城県南郷高等学校	宮城県南郷高校訪問(販売商品確認)
7 / 20 (木)	14:00~18:00	勾当台公園(仙台市)	朝市夕市ネットワーク イベント型販売事業共同販売
7 / 23 (日)	10:00~12:00 10:00~16:00	田尻町農村運動公園 加美町中新田公民館	アグリ・ハウス加護峰 ソーセージづくり体験 加美町文化協会「木彫りの会」定例会
8 / 4 (金)	16:00~18:00	仙台市内	商品化決定 JTB東北:ツアーの企画・商品化について
8 / 10 (木)	10:00~12:00 13:00~15:00	宮城県黒川郡大和町 仙台市内	宮城大学訪問(助教授 宮原育子先生) 宮城県産業経済部 産業政策推進室企画第一班
8 / 17 (木)	14:00~18:00	勾当台公園(仙台市)	朝市夕市ネットワーク イベント型販売事業共同販売 商品名 見て・来て・触れて・感じて,グリーン・ツーリズム ~まるごと大崎体験と名湯・鳴子温泉~ グリーン・ツーリズム事業PR活動

平成18年度の活動実績

活動日	活動時間	活動場所	研究活動内容
8 / 21 (月)		宮城県内	募集開始 グリーン・ツーリズム事業PR活動(折込広告) 河北新報 40万部 朝日新聞・毎日新聞 8万部 計48万部
8 / 25 (金)		福島県須賀川市内	平成18年度第10回東北六県高等学校 生徒商業研究発表大会(リハーサル) :須賀川市民文化センター
8 / 26 (土)		福島県須賀川市内	平成18年度第10回東北六県高等学校 生徒商業研究発表大会(本大会) :須賀川市民文化センター
8 / 30 (水)	15:00~16:00 16:00~17:30	本校 宮城県南郷高等学校	株式会社JTB東北 交流文化事業部営業推進課長佐藤一彦氏来校 グリーン・ツーリズム事業(打ち合わせ)
9 / 1 (金)	16:00~17:00	大崎市役所	大崎市長伊藤康志氏表敬訪問 グリーン・ツーリズム事業報告 平成18年度第10回東北六県高等学校 生徒商業研究発表大会結果報告
9 / 5 (火)		宮城県内	グリーン・ツーリズム事業PR活動(新聞広告)
9 / 11 (月)			催行決定
9 / 18 (月)		宮城県内	グリーン・ツーリズム事業PR活動(折込広告) 河北新報 40万部 朝日新聞・毎日新聞 8万部 計48万部
9 / 22 (金)	18:30~19:30	仙台市内	JTB東北:ツアー当日の打ち合わせ
9 / 24 (日)	15:30~16:00 18:30~19:30	大衡村内 大崎市内	ききょう観光:ツアーについての指導助言 鳴子観光温泉協会:ツアーについての指導助言 鳴子観光ホテル:ツアー当日の打ち合わせ
9 / 27 (水)	10:00~13:00	本校	株式会社JTB東北 交流文化事業部営業推進課長佐藤一彦氏来校 ツアー当日の打ち合わせ
9 / 28 (木)			募集締切
9 / 29 (金)	16:00~19:00	本校	しおり作成
9 / 30 (土)	10:00~16:00	大崎市内・美里町内	最終現場視察 ・道の駅三本木 ・鬼首かんけつ泉 ・鳴子観光ホテル ・旧有備館 ・田尻研修センターロマン館 ・宮城県南郷高等学校 ・凛菜・上の家 ・岩下こけし資料館 ・あ・ら・伊達な道の駅 ・醸室(かむろ)
10 / 1 (日)			見て・来て・触れて・感じて,グリーン・ツーリズム ~まるごと大崎体験と名湯・鳴子温泉~実施 1日目
10 / 2 (月)			見て・来て・触れて・感じて,グリーン・ツーリズム ~まるごと大崎体験と名湯・鳴子温泉~実施 2日目
10 / 9 (月)	放送 7:30~8:00		TBC東北放送株式会社